

第2章 UMCG 大学病院のヘリコプター救急

1 病院の一般的状況

われわれが訪ねたフローニンゲン病院（UMCG）はオランダ北部のフローニンゲン（Groningen）の町の中心部にある国立大学病院で、100年以上の歴史を誇る。病院の中は大きなモール街に入ったようなつくり。広い歩廊は吹き抜けの高い天井がガラス張りになっていて、自然の光が常に入ると共に、天候の良いときはガラスが開いて自然の大気も流れこんでくる仕掛けである。

入院患者の病室も、外部からは3階建てのベランダつきマンションのように見える。その3階ベランダの藤椅子に坐った患者さんが、下を通るわれわれを見下ろしている光景は普通の町の風景と変わりがない。歩廊には至るところに絵画や彫刻が置いてあり、病院建物の中心部には屋内でありながら、池と噴水が設けられていた。こうしたしつらえは全て、病者に自分が健康を害して入院していることを忘れさせ、気持ちを慰めるためという。



また病院の中には至るところにカエルのロゴマークが描かれている。ヨーロッパ人のカエルに対する親愛の情は日本人よりもはるかに強く、カエルは信頼に足る生き物で、静かで清浄な環境の中で健康的な質の高い生活を営むと見ている。そうしたカエルのような理想を求める病院でありたいという願いを示すのがこのロゴマークという。

こうした病院で、われわれは麻酔専門医の J. P. ファルク博士に迎えられ、レクチャーを受けた。博士はこの病院のヘリコプター救急の責任者でもある。

レクチャーはオランダにおけるヘリコプター救急の経緯、オランダの救急体制の現状、移動医療チーム（MMT : Mobile Medical Team）の概要、成功へのオランダ方式といった内容で、前第1章のとおりである。

病院の規模は、従業員数 8,500 人、ベッド数 1,339 床、入院患者延べ 30,028 人、外来患者およそ 50 万人、手術約 7 万件、ヘリコプター出動約 600 件、年間予算 6 億 1,800 万ユーロ（約 1,000 億円）といった実績数字が示すとおり。また従業員数はオランダ北部最大であり、非営利法人として 2004 年および 2005 年のベスト法人に選ばれた。医学部の年間入学数 440 人もオランダでは最も多い。

病院としては、医師の経験や勘に頼る旧来の医療を脱して、国際基準にのっとった「根

拠に基づく医療」(EBM: Evidence based Medicine) をめざしている。

2 ヘリコプター救急体制

こうしたフローニンゲン大学病院では屋上にヘリポートを設け、ドイツADACのEC 135ヘリコプター1機を借り受けて、ヘリコプター救急にあたっている。現状では午前7時から午後7時まで待機しているが、1年後の2007年11月1日からは24時間の待機に移行する計画で、夜間暗視装置(NVG: Night Vision Goggle)の使用訓練なども進めている。

ヘリコプター救急は2000年から試行的に行なわれ、2001年11月から本格化した。本格化したあとの2002年から05年までの出動実績は別表のとおりである。毎年増えつづけているが、この表には悪天候時や夜間のヘリコプターに代わるドクターカーの出動も含まれる。2005年中の内訳はヘリコプターが591件、ドクターカーが134件であった。

出動するヘリコプターにはパイロットのほかにドクターとナースが乗り組む。ナースは空中では副操縦士の役目も果たし、無線通信や周囲の見張りに当たる。ちなみに日本ではドクター、ナースに加えて整備士が乗り組み、副操縦士の役を果たしている。

ヘリコプターの出動はディスパッチ・センターからの指令による。同センターは警察、消防、救急の全緊急機関の統合指令センターになっていて、緊急電話の内容に応じてそれぞれの事態に対応する。救急事案に対しては、このセンターにナースが常駐しており、ヘリコプターを出すかどうかを判定する。なお救急車はタクシー会社、自動車販売会社などの中小企業が受け持っている。

ヘリコプターの運航費用は政府が出す。国内4カ所の拠点に対しては、1カ所あたり250万ユーロ(約3.9億円)で、この中にはドクターその他の医療スタッフの経費も含まれる。これで年間250時間までの飛行をまかない、それより多く飛んだときは超過1時間あたり800ユーロ(約125,000円)を追加する。病院側は、この追加分を医療保険で支払うよう、制度の改変を求めている。

フローニンゲン大学病院の救急出動実績

年	現場治療	患者搬送	病院間搬送	捜索救難	途中キャンセル	合計
2005	355	102	29	15	224	725
2004	267	78	26	10	219	600
2003	217	37	3	4	148	409
2002	203	37	0	1	109	350

[注] ドクターカーの出動も含む。2005年の総出動725件中ヘリコプターは591件。



われわれのミーティング中に飛び立った救急機



広大なフローニンゲン大学病院
建物中央部の屋上に黄色く見えているのが格納庫
その手前にヘリポートが伸びている